

令和7年3月大竹市議会定例会(第1回)

一般質問及び総括質疑通告表

1.

2番 中野 友博 議員

質問方式 一問一答

阿多田島汽船フェリーの船員確保について

小方港と阿多田島を結ぶ定期客船フェリーは、阿多田島の島民にとって移動手段や生活物資の輸送手段として重要な交通インフラを担っています。近年では海上釣り堀をはじめ堤防釣りや磯釣りなどの釣り客による利用も増え、平日も多くの市外利用者がおります。上記にある重要なインフラを担う阿多田島汽船の船員は現在、島内運転手が2名、島外運転手が5名という状況であり、島外運転手は阿多田島からの始発運航に備え、勤務日前日には島へと渡り、月の半分を島内にある賃貸契約している空き家物件で生活しています。

しかし、島内にある空き家物件も老朽化が進んでおり、賃貸契約先の確保に苦慮されている状況であり、物件状況を見て就職を断念するケースも起こっております。今後、本市として船員確保に向けた取組についてどのような考えをお持ちでしょうか。

また、今後増加するであろう島外船員確保のための取組として下記2点を提案させていただきます。

①島外船員のための賃貸住居の建築。

②資格取得に要する経費補助。

こども食堂運営に係る補助について

こども食堂の支援を通じて、誰もとりこぼさない社会の実現を目指して活動する「認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ」の調査によると、こども食堂全国箇所数は2016年の319箇所から2023年には9,132箇所となり、全国的にも利用者が増加している状況です。本市においては4事業所が子ども食堂を運営しており、利用者が増加している状況を踏まえ、新規参入を検討している事業所も出てきております。

そこで本市の子ども食堂に関する現状認識、今後の課題、現在行政として行っているサポートについてお伺いします。

また、現在、運営に関する費用は補助等で賄われていますが、3月の春休み期間のみ補助対象期間外となるため各事業所で運営資金を調達する形になっています。そこで補助対象期間外になる運営費について本市として補助ができないか伺います。

2.

15番 寺岡 公章 議員

質問形式 一問一答

コミュニティスクール(CS)について

①令和6年度の玖波小学校での実績や反省点、気づきはどうか。

また、玖波小学校での改善点はあるか。

②令和7年度は他の学校に広げる予定だが、それぞれの地域や学校で地域柄や校風がある。

それをどのように読みとっており、どのように展開していくのか。

③運営協議会はどういった構成メンバーを考えているのか。

校内には既存の学校運営や教育活動支援の団体があると思うが、CS運営による一部の保護者や団体代表、学校管理職の負担はどうか。

④地域学校協働本部の立ち上げは、目指すところの一つとしてCSとの連携を見据えており、同時に(仮)学校連携・子どもの居場所づくり会議の設置を目指していると説明を受けている。役割分担を整理しておきたいが、まずは進捗はどうか。

⑤40万円の予算額と市内全小中学校一貫教育の整合性を伺う。

3.

5番 岡 和明 議員

質問形式 一問一答

宮島来島者500万人近く、訪日客消費8兆円突破でも、本市市民が享受するものがない現状と今後の施策について

12月定例会で本市の文化政策についてお尋ねしました。その後、令和6年(2024年)の観光にかんする統計が次々発表されました。宮島の来島者は485万人と過去最多を記録。訪日外国人客も過去最多の3,680万人で、その消費額もついに8兆円を突破しました。さらに国内観光客はその数倍の規模です。

その一方で、本市は訪問先として世界的に人気の高い広島市や宮島、岩国、さらに加えてニューヨーク・タイムズ「2024年に行くべき52カ所」の3位に選ばれた山口市や、同2019年7位の瀬戸内の島々など、世界的な観光の軸の只中に位置しながら、観光振興の基盤となる文化政策に関心を示さず、利益を享受できる市民も皆無に近い状態です。このたび確定した昨年の上記数値を踏まえての本市の文化政策について再度お尋ねします。

亀居城の整備については、12月定例会で比較的前向きな答弁をいただきました。樹木・雑草の繁茂する時期が近づく中、この本市最大の文化財がどのように憂慮すべき状態かあらためて認識いただき、今後の対策をお尋ねいたします。

雑誌出版社による住みやすさ調査について

雑誌出版社の住みやすさ調査で本市が3年連続県内1位になった話が昨年「広報おおたけ」に載り、調査結果を不審に思う市民から私が意見を尋ねられる機会が増えました。例外なく「あれ一体どういうこと」と訝しむ声です。そもそも調査がおかしいのではないかとの声まで聞かれるようになっており、議会内でも混乱しています。

本市の遠景は海の突端から山の際までが煙突やプラントが密集する工場地帯であり、駅前にはさびれ、商店街は消滅し、50年間人口が減り続けている本市が、住みやすさ調査で上位になれば、誰もが訝しむのは当然でしょう。旧市街地区は車を置く場所や停める場所にも不便し、「市外から子どもたちが車で帰省することもできない」、「近くに買物できる場所もない」と住みにくさを訴える声を聞きます。こうした寒々した現状と雑誌調査の乖離をどのように説明しますか。

4.

13番 日域 究 議員

質問形式 一問一答

都市計画に於ける、用途地域指定の見直しについて

用途地域の目的は混在のすみ分けです。一定年月経過後にはすみ分けは完了しているべきですが、東栄の一部では50年以上経過しても、そうっていない場所があります。混在を解消する場合、どちらが移転するのか、それを間違えると事は進みません。まちの活力を取り戻すためにも、見直すことを求めます。

不登校問題について

前回の質問で、多様な受入れ対策を講じていることは理解できました。つまり、学校側を変えようと言うことですね。ではもう一つ、子どもたちだって、家族だって、みんな普通に学校に通える方がいいと基本的には思っているのですから、みんながそうできるように、原因を調べたり、その原因が小学校や幼稚園や保育園時代にある場合は、フィードバックしたりしていますか。

5.

8番 藤川 和弘 議員

質問形式 一問一答

三倉岳の魅力向上に向けた施設整備と利便性改善について

三倉岳は、私たちの町の誇りであり、令和6年には年間4,290台もの車が訪れ、そのうち3分の1が県外からの観光客です。しかし、冬季の限られた開館時間や週3日の休館日が、利用者の皆さんにとって不便に感じられることもあります。特に、携帯電話の電波が弱くて緊急時の連絡が取りづらかったり、登山道のトイレやシャワーの設備が不足しているため、女性利用者や登山者・クライマーから改善を望む声が上がっています。また、三倉岳はボルダリング大会の開催地としても注目されており、岩場の質の高さがプロのクライマーからも高く評価されています。これらの施設を整えることで、登山やボルダリング、キャンプなどさまざまなアウトドアアクティビティの拠点として、さらに多くの方々に楽しんでいただけたと思いますし、地域の観光振興や活性化にもつながると考えます。本市のお考えをお伺いします。

6.

12番 山崎 年一 議員

質問形式 一問一答

新年度予算における若者の定住促進や子育て支援・人口減少対策を問う

- ①本市がこれまで経年で取り組んだ人口減少対策・少子化対策・定住促進・子育て支援などの施策を伺う。また、それらの取組はどのような評価されていますか。
- ②本市の人口減少について近年の状況を伺うとともに、どのように捉えられていますか。
- ③新年度予算における若者の定着・子育て世代に焦点をあてた定住促進の取組を伺う。
- ④今回の人口移動報告で明らかにされた、人口移動が、本市のまちづくりに影響があるとお考えですか。また、今後どのような取組が必要ですか。
- ⑤地方の人口の減少が続く中で若者世代への取組を広げ「選ばれる自治体」として成功している自治体もあります。先進市の施策を取り入れ本市に適応される取組について伺います。
- ⑥知事は「県内の市や町、産業界とも幅広く連携しながら社会動態の均衡を目指していきたい」とされ、新年度予算に人口減少対策への意気込みを示され、「若者の県外流出に焦点を当て予算を組み立てられた」とのことです。広島県との連携を密にされ、4年連続最多、8割以上が若者転出に歯止めをかける道筋を模索していただきたい。広島県との連携について伺います。

解決に向かわない北朝鮮による拉致問題について市長のお考えをお聞かせください

北朝鮮による国家的犯罪である日本人拉致、大竹市においても特定失踪者の方が1名いらっしゃいます。こうした卑劣極まりない人権侵害に対して

①市長のお考えをお聞かせください。

②現在の本市の取組、これからの取組を教えてください。

市内の小学校に教育漫才を取り入れませんか

越谷市の市立新方小学校では、授業に漫才を取り入れることで、いじめや不登校の問題に取り組んでおられるとのこと。本市教育委員会においても一度ご検討くださいませんか。

大竹駅伝の再開催について

大竹駅伝の再開催については過去大竹市の議員が一般質問しても方針はないとの事でしたが、その後のお考えをお聞かせください。

防災、災害時に関する避難施設や電源確保の取り組みについて

災害時に開設する通常の避難場所について自主防災組織等と協定を結び管理運営を任せるといった仕組みにはできませんか。能登地震では停電が約1ヵ月続き防災用品としてポータブル電源が活躍したとお聞きしました。本市でのポータブル発電機の備蓄などお考えは。

おとしの大竹市議会議員選挙における現職ベテラン議員の選挙時における事前運動の疑いについて再度お伺いします

公選ハガキでもないハガキを収支報告書に記載しているのに不公平がありますのでハガキの提出をもとめたりはしないのでしょうか。

本市の観光の看板について

下瀬美術館が開館して本市を訪れる市外の方も増加傾向にあると思いますが、初めて本市を訪れた方にとって道路周辺にある看板はとても頼りになるものと思われます。

市が管理する看板の情報など随時更新されていますか。